

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											リーシュマニア症	AABB Weekly Report. 2003; 9(44): 3	BPACは全血について、リーシュマニア症の既往を永久供血停止に、イラクへの旅行者は1年間の供血停止にすることを勧告した。
											ヘルペスウイルス感染	Transfusion 2003; 43(12): 1764-5	ブラジルで供血者におけるヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)の抗体検査及びDNA測定を行った結果、HHV-8が輸血により伝播する可能性が示唆された。
											重症急性呼吸器症候群	WHO HP Disease Outbreak Reported 1/28, 2004	中国広東省で2003年12月20日より治療を受けていた32歳の男性がSARSであることが判明した。
											重症急性呼吸器症候群	WHO HP CSR Update4 1/28, 2004	中国保健当局は、2004年1月17日に広東省における2例目のSARS検査確定例を公表した。20歳女性で、既に回復し退院した。また、3例目となりうる予備試験陽性の可能性例(35歳・男性)も確認されているが、この男性も既に回復し退院している。1例目も含めたこれら患者から、他への感染は発生せず、感染源は確定できなかった。
											インフルエンザ	ProMED-mail 1/8, 2004 (The Australian 1/8, 2004)	ベトナムで小児12名が原因不明の呼吸器疾患に罹患、7名が入院中に死亡した。保健当局はその病因からSARSを除外、インフルエンザA型ウイルスであることを示唆した。
											インフルエンザ	WHO WPRO/Public Press Release 1/13, 2004	WHOはベトナム・ハノイ地域で発生した3例の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)の診断検査の確定を得た。ベトナムでは合計14例の重症呼吸器疾患患者が検知、うち小児患者11例と成人患者1例の合計12例が死亡したが、今のところ、これらの全てが高病原性鳥インフルエンザである証拠はない。
											インフルエンザ	WHO HP GSR 1/29, 2004	タイ及びベトナムでの高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)患者の推定症例数。総症例数11(タイ3、ベトナム8)、うち死亡例数8(タイ2、ベトナム6)。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 422-428	カニクイザルに、BSEに感染したカニクイザルの脳組織を静注及び経口で投与したところ、経口に比して静注の潜伏期間は短かった。末梢組織からのさらなるヒトへの感染を回避するために、vCJD患者血液を輸血された可能性のある症例に対しては、原発性vCJDと同じ予防策を適用すべきである。また、PrPresの分布は他の部位と比較して扁桃に多く、扁桃が生検スクリーニングの第一選択組織と判断すべきであると示唆された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Afssaps/communique de press 2004/2/1	輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が確認されたことを受けて、フランス保健製品衛生安全庁が血液及びその二次製品を介したTSE因子の感染リスクに対して現時点では修正の必要はないとの暫定的声明を出した。
2004/04/16	40053	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅳ因子	マウスモノクローナル抗体	マウス脾臓細胞と骨髄腫細胞のハイブリドーマ		製造工程	無し	無し	有り			
2004/04/16	40054	帝國臓器製薬株式会社	1,2 下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/04/20	40055	川崎製薬株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し	無し	無し(遅延)			
2004/04/20	40056	川崎製薬株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無し	無し	無し(遅延)			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/04/20	40057	武田薬品工業株式会社	1-4 注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え) 5 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス感染	GDC MMWR, 8/15, 2003/52(32);769-72	2003年から、米国で輸血・臓器提供によるウエストナイルウイルス感染防止のため、供血血液に抗体検査に加えてNATスクリーニング検査が導入された。その結果、同年8月5日までに約100万人がスクリーニングされ、329人(約0.03%)がWNV-RNA陽性を示し、再度のNATでも163人(約0.015%)がWNV-RNA陽性だった。
											ウエストナイルウイルス感染	ProMED 8/22, 2003 (Eurosurveillance Weekly, vol.7, 8/21, 2003)	2002年8月28日～2003年3月1日のCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は21名であった。欧州における供血者へのWNV対策は、①米国カナダからの帰国者は、帰国後28日間は供血を延期すること、②米国カナダの渡航歴がありWNVの疑いの病歴を有する者あるいは滞在中・帰国時に頭痛を伴う発熱があった場合は、症状発生から28日間は供血を延期することとしている。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 9/18, 2003/52(Dispatch):1-3	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年6月から9月にかけてのNAT検査の結果は、1次検査陽性は全体の0.05%、そのうちの約半数、全体の0.02%がWNV血症可能性血液と考えられた。また、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。
											ウエストナイルウイルス感染	Transfusion 2003; 43(8): 1018-22	重症の分娩後出血により輸血されたことでWNVの感染が疑われた症例をもとに、保存されていた輸血血液成分等を調査した結果、輸血血液成分にWNVが含まれていた証拠が得られた。
											ウエストナイルウイルス感染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(13): 1236-45	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。
											C型肝炎	Transfusion 2003; 43(10): 1433-41	米国で1970年代に行われた研究の保管検体5,387本を用いて、輸血後HCV感染が成立するために必要な供血者HCV-RNAの最小量を検討したところ、現在のHCV-RNA検査は、個別審査を実施しても感染性を有する全ての血液を排除することはできず、血清学的検査は今後も継続されるべきとの結論を得た。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
クロイツフェルト・ヤコブ病	British Medical Journal 2003; 328: 118-9	2003年12月、英国保健相は輸血に関連したvCJDの可能性例を英国議会に報告。確認された場合、世界初の輸血によるvCJD感染症例となる。											
2004/04/20	40058	武田薬品工業株式会社	1-4 注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え) 5 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/20	40059	武田薬品工業株式会社	1-4 注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	マウスの腹水由来成分	マウスの腹水	アメリカ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/20	40060	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリンパ球免疫ウサギ血清		有効成分	無し	無し	無し			
2004/04/20	40061	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	培養ヒトリンパ球(JM細胞株)	ヒト(急性リンパ性白血病患者)末梢血		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
2004/04/20	40062	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	ヒト胎盤ホモジネート	ヒト胎盤		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
2004/04/20	40063	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	ヒト赤血球	ヒト血液		製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/04/20	40064	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
2004/04/20	40065	日本臓器製薬株式会社	ゼットプリン注	ウシ乳児血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
2004/04/20	40066	中外製薬株式会社	1-3 レノグラステム(遺伝子組換え) 4-15 エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/20	40067	中外製薬株式会社	1-3 レノグラステム(遺伝子組換え) 4-15 エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	茨城県の検査陽性牛について、病理組織学的検査等の結果を精査したところ、非定型的なBSEと判断された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	米国規制当局発表 2003/12/24	ワシントン州のホルスタイン雌牛についてBSEが疑われる旨を発表した
											クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5(1), 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
2004/04/20	40068	中外製薬株式会社	トラスツマブ	プリマトンHS/UF	ウシ膵臓、心臓、ウマ膵臓、豚肉	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	茨城県の検査陽性牛について、病理組織学的検査等の結果を精査したところ、非定型的なBSEと判断された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrPsc蓄積の分布の相違も認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	米国規制当局発表 2003/12/24	ワシントン州のホルスタイン雌牛についてBSEが疑われる旨を発表した
											クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5(1), 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
2004/04/20	40069	中外製薬株式会社	1トラスツマブ(遺伝子組換え) 2-5 ストレプトコックスピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	バンクレアチン	ブタ膵臓	1.米国、カナダ、2~5.日本、米国、カナダ、フランス	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/20	40070	中外製薬株式会社	1-3 レノグラステム(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 9/18, 2003/52(Dispatch):1-3	2003年から米国内の採血機関ではウエストナイルウイルスを検出するため、プールNAT検査を導入したが、2003年6月から9月にかけてのNAT検査の結果は、1次検査陽性は全体の0.05%、そのうちの約半数、全体の0.02%がWNV血症可能性血液と考えられた。また、2003年9月時点で2例のNATすり抜け輸血感染症例が報告された。
											ウエストナイルウイルス感染	The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE 2003; 349(13): 1236-45	2002年8月、米国FDA及びCDCが地方保健当局及び血液関連機関に対して、輸血によるウエストナイル感染に注意するよう通知後、輸血感染が疑われる症例報告がなされるようになったため、2003年4月15日までのCDC追跡調査の結果、輸血感染が疑われる患者は61名、そのうち確定症例は23名であった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											マラリア	Infectious Diseases News Brief, Health Canada 11/14, 2003	2003年3月、米国テキサス州ヒューストンで赤血球輸血を介したマラリア感染を疑う69歳男性の症例報告。2名のドナーの血液からはマラリアの抗体、DNAは確認されなかった。
											アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	ProMED 11/23, 2003 (New York Times 11/22, 2003)	米国における輸血後のシャーガス病感染の可能性についての記事。米国ではシャーガス病は稀な疾患で、輸血または臓器移植によるシャーガス病感染者は過去に米国及びカナダで9例のみであるが、専門家は輸血患者数百名で不顕性感染している可能性があると指摘している
											アメリカトリパノソーマ症(シャーガス病)	ProMED 11/26, 2003 (The Globe and Mail 11/26, 2003)	カナダで輸血によりシャーガス病に感染する可能性について、カナダ当局が評価中である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED 12/18, 2003 (BBC News online 12/17, 2003)	英国で、1996年にvCJDと考えられる供血者由来の血液を輸血した患者が、2003年秋にvCJDで死亡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	GDR Weekly 12/18, 2003; 13(51)	英国で、輸血により感染したと考えられるvCJDの初の症例が確認されたが、供血者と受血者の因果関係は証明されていない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	THE LANCET 2004; vol.363, February 7, 417-421	英国で輸血によるvCJD感染の可能性を示す症例が1例確認された。
2004/04/20	40071	中外製薬株式会社	1-3 レノグラステム(遺伝子組換え) 4-15 エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省HP	茨城県の検査陽性牛について、病理組織学的検査等の結果を精査したところ、非定型なBSEと判断された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	OIE Diseases Information, 10/17 2003; Vol.16-No.42	イタリアで2頭の高齢のウシが不定型BSE感染牛と報告された。2頭とも免疫組織化学パターンと免疫生物化学パターンは通常のBSEで認められるパターンと異なり、また脳内におけるPrP <sup>sc</sup> 蓄積の分布の相違も認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	米国規制当局発表 2003/12/24	ワシントン州のホルスタイン雌牛についてBSEが疑われる旨を発表した
											クロイツフェルト・ヤコブ病	European Molecular Biology Organization Reports 2004; 5(1). 110-5	フランスでBSEと診断されたウシで、特有の異常プリオン分子の表現型が認められた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proc.Natl.Acad.Sci.USA,101(9)p3065-3070(2004)	イタリア国内で従来のBSEの細胞性プリオンタンパクとは明らかに異なる特徴を有し、孤発性CJDの特徴に類似したBSEが確認された。
2004/04/20	40072	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラードウォーター	ブタ脂肪	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40073	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタ胃液	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40074	中外製薬株式会社	1 トラスツズマブ(遺伝子組換え) 2-4 レノグラステム(遺伝子組換え) 5-16 エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40075	デンカ生研株式会社	1 日本脳炎ワクチン 2 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウスの脳		製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40076	デンカ生研株式会社	1 日本脳炎ワクチン 2 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血液	アメリカ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40077	デンカ生研株式会社	1 日本脳炎ワクチン 2 乾燥日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水分解物	ウシの乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/04/21	40078	社団法人 北里研究所	1,2 日本脳炎ワクチン 3 ジフテリアトキソイド 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ゼラチン	ウシの骨皮(骨髄を除く)	不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血球ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	修正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ODC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40079	社団法人 北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	乳糖	ウシ乳	①ニュージーランド、米国②③オランダ、ドイツ、ベルギー、ルクセンブルク、ニュージーランド、米国④不明	添加物	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ODC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40080	社団法人 北里研究所	1 乾燥痘そうワクチン 2 痘そうワクチン	ウシ表皮	ウシ	不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ODC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40081	社団法人 北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシ乳	1~3.オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、米国 4.不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ODC MMWR, 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/04/21	40082	社団法人 北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ラクトビオン酸エリスロマイシン	ウシ乳	1~3. ニュージーランド、カナダ、米国 4. 不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR. 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40083	社団法人 北里研究所	1 乾燥弱毒生麻しんワクチン 2 乾燥弱毒生風しんワクチン 3 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 4 乾燥弱毒生麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン	ウシ胎児血清、新生仔牛血清	ウシ血液	1~3. ニュージーランド 2. ニュージーランド、オーストラリア 4. 不明	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC MMWR. 1/9, 2004/52(53): 1280-5	米国農務省は、ワシントン州の食肉処理場で処理されたホルスタイン種ウシ1頭が、米国で初めてのBSEであると推定診断されたと発表した。
2004/04/21	40084	社団法人 北里研究所	1 コレラワクチン 2 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 3 沈降破傷風トキソイド 4 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 5 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 6 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 7 ジフテリアトキソイド 8 ジフテリア破傷風混合トキソイド 9 乾燥破傷風抗毒素 10 沈降精製百日せきワクチン 11 百日せきワクチン 12 ワイル病治療血清「北研」	ペプトン	ウシ乳	①ポーランド、中国、ニュージーランド、オーストラリア ②⑤ポーランド、中国、ニュージーランド ③④ニュージーランド、中国	製造工程	有り	無し	無し	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 84(2002)275-282	北海道の5ヶ所の牧場で335の牛血清サンプルを用いてウシ白血病ウイルス(BLV)とウシ免疫不全ウイルス(BIV)の垂直感染について調査している。
											人畜共通感染症	Jpn.J.Vet.Res.51(1):3-8,2003	トルコにおいて初めてウシのBIVの感染が確認された。